

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書  
(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 5 月 11 日

所属部局・職	霊長類研究所・修士課程学生
氏名	佐藤 容

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)	
日本・宮崎県串間市幸島	
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
生態学野外実習	
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)	
平成 26 年 4 月 25 日 ~ 平成 26 年 5 月 1 日 (7 日間)	
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
京都大学野生動物研究センター 幸島観察所	
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。	
今回の実習では、宮崎県串間市にある幸島で野生のニホンザルを対象とした観察をおこなった。 研究テーマは「宮崎県幸島のニホンザルの行動性体温調節」とし、2 日間でデータ収集を行い、その後解析、プレゼンテーションを行った。 野生動物の観察を行ったのは初めてだったので大変興味深く、また勉強になった。1 週間という短い期間でテーマ決めからデータ収集、解析発表までを行うのはかなり大変だったが、自分に足りないことやもっと勉強しなければならないことを改めて知ることができた。他の人の研究の様子を間近でみて話を聞くことができたのもよい刺激であった。	
	
写真 1. 調査の様子	写真 2. 幸島のニホンザル
<b>6. その他</b> (特記事項など)	